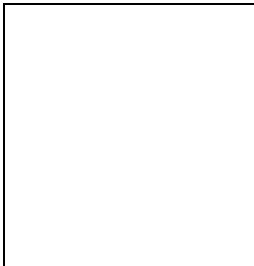


▽ 比嘉 昌哉 教授 HIGA, Masachika



学 科: 人間福祉学科

担当科目: 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、  
 スクールソーシャルワーク論、専門演習 a・b、  
 専門演習 II、卒業論文演習、相談援助実習指導、  
 スクールソーシャルワーク演習・実習指導等

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

① 琉球大学法文学部社会学科卒業、龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程修了
② 修士(社会福祉学)
③ 日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、日本社会福祉士会等
④ 日本学校ソーシャルワーク学会理事(2012～)、一般社団法人沖縄県社会福祉士会副会長(2007～)、恩納村スクールソーシャルワーカー配置事業スーパーバイザー(2013～)、うるま市スクールソーシャルワーカー配置事業スーパーバイザー(2013～)、沖縄県里親会理事(2013～)、県内某児童養護施設(社会福祉法人)評議員(2009～)、県内某保育園(社会福祉法人)評議員(2010～)、スクールソーシャルワーク研究会おきなわ主宰(2008～)、沖縄県いじめ防止対策審議会委員(2015～)、沖縄子どもの未来県民会議普及啓発・評価部会長(2016～)等

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 相談援助実習指導	2010 年度～現在	社会福祉士実習関連の通年科目である。毎年、15～18 名ほどの学生が受講している。事前指導としては、実習の意義、施設・機関の理解、実習計画、実習日誌の書き方等、事後指導としては、実習成果の整理と共有、実習報告会の実施、報告書の作成等である。特に、実習報告会は個別のゼミにて学内・学外(学生がお世話になった施設や大学セミナーハウス)で実施することに加え、さらに学年全体(4 ゼミ合同)で実習分野・施設種別を超えて振り返りを行う等工夫している。

<p>2) スクールソーシャルワーク 論</p>	<p>2009 年度～現在</p>	<p>テキストは比嘉も分担執筆している『よくわかる スクールソーシャルワーク』(ミネルヴァ書房、 2012 年)や『スクールソーシャルワーク実践技 術』(北大路書房、2015 年)を使用している。 一度受講したことのある学生をスチューデントア シスタント(SA)としてつけて、授業の進行をフォ ローしてもらい分かりやすい授業が展開できる よう工夫している。</p> <p>聴覚に障がいをもつ学生等支援が必要な学生 には、福祉ボランティア支援室スタッフやノート テイカー(学生)等と協力して学びの支援を行っ ている。また、視聴覚機材の活用やゲストスピ ーカー(現役スクールソーシャルワーカー等)を 招聘して講演会を実施するなど現場の実態が 伝わるように授業を進めている。</p>
------------------------------	-------------------	--

2. 作成した教科書、教材、参考書		
1)「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」	2009 年度～現在	テキストを元にパワーポイント資料を作成し、授業用ノートとして学生に配布している。それを中心に授業を展開している。統計資料や新聞記事を積極的に活用している。
2)「スクールソーシャルワーク論」	2009 年度～現在	テキストは比嘉も分担執筆している『よくわかるスクールソーシャルワーク』(ミネルヴァ書房、2012 年) や『スクールソーシャルワーク実践技術』(北大路書房、2015 年)を使用している。 パワーポイント資料を作成し、授業用ノートとして学生に配布し授業を展開している。また、他の関連文献や事例集、統計資料、新聞記事等を積極的に活用している。
3. 学生支援活動		
1)学習指導 授業外における学習支援 履修指導 長欠学生・学費未納学生への支援	2009 年度～現在	ゼミ生の中には毎年のように、発達上の課題を抱えるなど授業についていくのが困難な学生が存在する。個別面談にて指導を行い、必要に応じて保護者面談を行っている。 また、長欠学生については、連続 3 回以上欠席した場合は電話・メールで連絡するようにしている。その際、保護者との連携も欠かせない。 一方、社会情勢を反映し授業料納入が難しい学生が多く発生し、その相談も個別にて対応している。 学生には、オフィスアワーの積極的活用を促している。
2)生活支援	2009 年度～現在	上記の長欠学生を含め、遅刻が多い学生については、アルバイト等大学外での生活についても共に考え助言している。学生には、オフィスアワーの積極的活用を促している。
3)進学指導	2008 年 4 月～2010 年 3 月	本土大学院(修士課程)進学希望者への小論文等指導(四国学院大学大学院、東洋大学大学院進学)

<p>4. 学外での教育活動</p> <p>※過去 7 年(2010～2016 年度)を中心に。</p>		
<p>1) 沖縄県スクールソーシャルワーカー配置事業スーパーバイザー</p>	<p>2009～2015 年度</p>	<p>対象は、国頭・中頭・八重山の 3 教育事務所の 6 名のスクールソーシャルワーカーであり、2～3ヶ月に 1 回の割合で対面でのスーパービジョンを行った。</p>
<p>2) 沖縄県スクールソーシャルワーカー連絡会研修会講師</p>	<p>2010 年 6 月 1 日</p>	<p>「スクールソーシャルワーカーの活動のあり方」。対象は、県派遣スクールソーシャルワーカー、教育事務所指導主事等であった。</p>
<p>3) 名護市生徒指導連絡協議会研修講師</p>	<p>2010 年 7 月 5 日</p>	<p>「福祉の視点で捉えた生徒指導の進め方」をテーマとして講演を行った。</p>
<p>4) 沖縄県児童館連絡協議会研修講師</p>	<p>2010 年 11 月 10 日</p>	<p>「個別援助技術」を担当し、講演及びワークを行った。</p>
<p>5) 北部地区市町村等児童相談担当者会議研修講師</p>	<p>2010 年 12 月 10 日</p>	<p>「スクールソーシャルワーク～学校における福祉的支援～」と題して講演を行った。</p>
<p>6) 沖縄県里親会研修講師</p>	<p>2011 年 6 月 17 日・12 月 1 日</p>	<p>「養育里親認定前研修」の一環で「子どもの権利擁護」をテーマとして講演を行った。</p>
<p>7) 那覇市こどもみらい課主催の研修会講師</p>	<p>2011 年 11 月 22 日</p>	<p>市主催の苦情解決研修「保護者支援と苦情解決」をテーマとして保育士に対し講演を行った。</p>
<p>8) 沖縄県高等学校養護教諭研究会にて講演</p>	<p>2012 年 2 月 24 日</p>	<p>「生徒支援のための連携体制づくり」と題して講演を行った。</p>
<p>9) 沖縄県教育委員会主催研修会講師</p>	<p>2012 年 4 月 6 日</p>	<p>「スクールカウンセラー等連絡協議会」にて「効果的な支援に向けての連携のあり方」をテーマとして講演を行った。</p>
<p>10) 沖縄県教育委員会主催研修会講師</p>	<p>2012 年 6 月 11 日</p>	<p>「スクールソーシャルワーカー連絡会議」にて「スクールソーシャルワーカーによるケース会議」と題して講演を行った。</p>
<p>11) 沖縄県児童館連絡協議会研修講師</p>	<p>2012 年 7 月 13 日</p>	<p>「個別援助技術」を担当し講演及びワークを行った。</p>
<p>12) 沖縄市教育委員会主催研修会講師</p>	<p>2012 年 9 月 4 日</p>	<p>市内配置のスクールソーシャルワーカー、担当教諭を対象に「スクールソーシャルワーカーの役割」について講演を行った。</p>
<p>13) 石垣市立石垣中学校校内研修及び PTA 講演会講師</p>	<p>2012 年 9 月 14 日</p>	<p>校内研においてケース検討会議を実施した。また PTA 主催の講演会にて「子どもに寄り添うということ」と題し講演を行った。</p>
<p>14) 宜野湾市教育委員会主催研修会講師</p>	<p>2012 年 10 月 19 日</p>	<p>はごろもサポートネットワーク会議にて「校内・校外連携のあり方」について講演を行った。</p>
<p>15) 沖縄県社会福祉士会主催研修会講師</p>	<p>2012 年 11 月 27 日</p>	<p>県相談支援従事者現任研修にて「相談支援専門員と学校の連携」と題して講演を行った。</p>

16)宜野湾市教育委員会主催研修会講師	2013年1月21日	「スクールソーシャルワーカーを含めた学校配置相談指導員の学校内における連携の取り方について」と題して講演及びワークを行った。
17)第1回沖縄県ソーシャルワーカー学会	2013年2月23日	実行委員会委員及び第一分会にて座長を務めた。
18)那覇保護観察所主催研修会講師	2014年2月21日	保護司指導力強化研修において「面接技法」について講演及びワークを行った。
19)第2回沖縄県ソーシャルワーカー学会	2014年2月22日	実行委員会委員及び第一分科会にて座長を務めた。
20)うるま市スクールソーシャルワーカー配置事業・スーパーバイザー	2013年度～現在	約月1回ペースでのスクールソーシャルワーカー連絡会に参加し、個々のスクールソーシャルワーカーの抱えるケースに対し、助言を行った。
21)恩納村教育委員会スクールソーシャルワーカー配置事業・スーパーバイザー	2013年度～現在	2カ月に1回行われるスーパービジョン研修にてスクールソーシャルワーカーの抱えるケースや指導主事の関わるケースについて助言を行った。
22)恩納村小中学校校内研修講師	2014年8月7日	「行動上の問題を抱える児童生徒(非行少年)の理解と支援」と題して、レクチャー及びワークを行った。
23)那覇保護観察所主催研修会講師	2014年11月18日	保護司指導力強化研修において「面接技法」について講演及びワークを行った。
24)八重山地区民生・児童委員研修会講師	2015年2月18日	「課題を抱える児童家庭支援について～児童虐待に焦点をあてて～」と題して、講演を行った。
25)沖縄市社会福祉協議会主催沖縄市民フォーラム	2015年7月12日	「数字から見る沖縄のこどもたちの現状について」と題して市民対象の基調講演を行った。
26)沖縄県子どもの貧困に関する検討委員会 会議	2015年8月19日	一委員として参加すると同時に、「学校現場から見える子どもの貧困」と題し報告した。
27)那覇保護観察所主催研修会講師	2015年10月30日	保護司指導力強化研修において「面接技法」について講演及びワークを行った。
28)浦添市主催「浦添市保育所(園)職員研修会」講師	2016年1月15日	「虐待防止を考える～保育者としてできること～」と題して講演を行った。
29)石垣市主催「教育講演会」	2016年2月18日	「不登校支援について～アウトリーチ(訪問支援)を中心に～」と題して講演を行った。
30)第4回沖縄県ソーシャルワーカー学会	2016年3月5日	第3分科会にて座長を務めた。
31)沖縄県市町村教育委員会連合会主催研修会講師	2016年5月12日	「子どもにとって『健康で文化的な最低限度の生活』とは」と題して講演を行った。
32)沖縄県里親会主催記念講演講師	2016年5月28日	「子どもの貧困対策について」と題して講演を行った。
33)沖縄県小児保健学会特	2016年6月4日	「子どもの貧困にどう向き合うか～貧困の連鎖

<p>別講演</p> <p>34)沖縄タイムス主催「沖縄の子どもの貧困を考える」本島縦断キャラバン in 沖国大</p> <p>35)沖縄市社会福祉協議会主催「沖縄市子ども支援ボランティア養成講座」</p> <p>36)西原町主催「西原町教育の日」教育講演</p> <p>37)中城村主催「中城村子どもの貧困対策連絡会議」講演</p> <p>38)第5回沖縄県ソーシャルワーカー学会</p>	<p>2016年6月18日</p> <p>2017年2月1日</p> <p>2017年2月4日</p> <p>2017年2月16日</p> <p>2017年2月18日</p>	<p>を断つために～」と題して講演を行った。</p> <p>パネルディスカッションの一パネラーとして「沖縄県におけるスクールソーシャルワーカー配置事業の現状と課題」と題し報告した。</p> <p>「沖縄の子どもの現状～支援者として子どもの貧困にどう向き合うか～」と題して講演を行った。</p> <p>「子どもに現れてくる諸問題にどう対応するか～スクールソーシャルワークの視点から～」</p> <p>「沖縄の子どもたちの現状～支援者として子どもの貧困にどう向き合うか～」と題して講演を行った。</p> <p>第3分科会にて座長を務めた。</p>
<p>5. 教育改善活動</p> <p>1)2016年度授業評価アンケート</p>	<p>2016年度</p>	<p>「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」:</p> <p>学生の声としては「児童に関する社会問題について理解できた」「なかなか興味の出る内容で良かった」など概ね良い評価をもらった。</p> <p>一方で、「授業の分量が私にとって適切であった」の評価が低かった。これについては、教えた内容を詰め込みすぎたかと反省している。今後の改善事項といえる。</p> <p>「スクールソーシャルワーク論」:</p> <p>学生の声として「事例を取り入れた授業展開はとても興味深かった」「子どもたちを取り巻く現状・問題について幅広い視点から考えることができた」などプラスの評価をもらった。</p> <p>今年度は、現場のスクールソーシャルワーカーをゲストスピーカーとして招聘し、講演を行った。今後も学生にわかりやすい授業を展開できるよう改善していきたい。</p>

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

- ① 単著:「子どもにとって健康で文化的な最低限度の生活とは～沖縄県子どもの貧困対策計画(案)から見えてくる課題～」『季刊セクシュアリティ 沖縄から学ぶ—「平和と性の権利」の実践をつくる』75、エイデル研究所、2016年。
- ② 単著:「沖縄県におけるスクールソーシャルワーカーの質的向上を目指したスーパービジョン」『スクールソーシャルワーカーのスーパービジョン・プログラム』科学研究費基盤研究 B、代表門田光司(久留米大学)、2016年。
- ③ 単著:「効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラムを活用したスーパービジョン—沖縄県の取り組みから—」『すべての子どもたちを包括する支援システム』せせらぎ出版、2016年。
- ④ 単著:「沖縄における子どもの貧困」『季刊 公的扶助研究』239、公的扶助研究会、2015年。
- ⑤ 単著:「沖縄県の就学援助制度の現状と課題～県内市町村教育委員会へのアンケート調査を通して～」『沖縄国際大学人間福祉研究』11(1)、沖縄国際大学人間福祉学会、2015年。
- ⑥ 単著:「スクールソーシャルワーカーのアドボカシー機能遂行のプロセス～子ども支援に焦点をあてて～」『沖縄国際大学人間福祉研究』10(1)、沖縄国際大学人間福祉学会、2013年。
- ⑦ 単著:「沖縄県におけるスクールソーシャルワーカー活用事業の実態」、『なかゆくい講座 元気が出るワークショップ』、沖縄国際大学公開講座委員会編、東洋企画、2009年。
- ⑧ 共著:「アメリカ・シカゴ調査報告」「わが国でのスーパービジョン体制の動向調査結果」『スクールソーシャルワーカーのスーパービジョン研究』、科研費基盤研究 B、代表門田光司(久留米大学)、2014年。

## 研究分野

スクールソーシャルワーク、児童家庭福祉

## 【Eメール・ホームページ等】

mahiga@okiu.ac.jp

平成 29 年 4 月 1 日現在